

広報 やまこし

1980
4月
第142号

発行/新潟県古志郡山古志村役場 電話(025859)2331 ■印刷/大川印刷株式会社 ■毎月1日発行

ピッカピカの一ねんせい



ながしま さちよさん
(虫亀 長島半さん方)
なわとびをしてあそびたい。



たなか やすおくん
(虫亀 田中康博さん方)
がっこうへ行って、大きいおにいさんとあそぶ。



おがわ ようこさん
(種芋原 小川利盛さん方)
ひろいきょうしつでさんすうをして、くだものやさんになりたい。



さかまき かずひとくん
(種芋原 坂牧常英さん方)
うんどうじょうで、のぼりぶなどあそぶんだ。



あぜがみ ひよしくん
(檜木 畔上進吉さん方)
やきゅうや、プールでもぐるれんしゅうをしたいな。



たかの やすよさん
(間内平 高野定雄さん方)
べんきょうをたくさんしたいけど、がっこうへ行ってもあそびたい。



ほしの たかのりくん
(下村 星野伸次さん方)
げんきよく、たくさんえをかんだ。



せき よしみさん
(梶金 関喜美雄さん方)
プールにはいたり、ボールであそびたい。

人口の動き ■人口 3,708(+5) 男 1,840・女 1,868 世帯数 937(0)
(55.2.29現在) ■2月中のうごき □出生 5 □死亡 1 □転入 5 □転出 4

民謡のつどい



おさそいあわせ、多数おいでください。
4月20日(日)午後1時
種芋原小学校体育館
主催—民俗芸能協会

犬の登録・狂犬病予防注射

55年度の犬の登録および第1回狂犬病予防注射を行います。犬を飼っている人は必ず受けてください。

期 日	会 場	時 間
4月25日(金)	虫亀診療所	10:00~10:30
	役 場	11:00~11:30
	東竹沢診療所	13:00~13:30
	民俗資料館	14:00~14:30
	種芋原公民館	15:00~15:30

▶手数料

犬の登録	2,000円
注射済票交付	300円
注射料金	1,000円
合 計	3,300円

出稼ぎ者の帰郷時検診

4月30日(水)	役 場	13:00~15:00
----------	-----	-------------

献血にご協力ください

5月1日(木)
午前10時~12時 役場前
午後1時~3時 種芋原農協



停電のお知らせ

期日—4月24日(木)
9時~10時 区域—山中、虫亀、油夫、桂谷
9時~13時 区域—大久保、池谷、檜木、種芋原

国民年金

年金の届け出は
お早めに



お知
ら
せ

進学や就職、転職などのシーズン。また出稼ぎしている人も、そろそろ帰ってきます。ところが、このころになると、「ふだん気を配っていた大切なことをすっかり忘れてしまい、気がついた時は後の祭りだった」という話をよく聞きます。

国民年金も、わたしたちの生活の基礎といえる重要なものです。ここで大切なことは、年金制度の空白期間を作らないようにすることです。—このコツは、何といつても移動の届けを遅れずに出す

こと。
国民年金に加入していた人が会社などに勤めた時は「国民年金の喪失届」を、逆に会社をやめた時は「国民年金の取得届」を、すみやかに役場に届け出なければなりません。この手続きは年金に加入している人にとって、保険料を納めることと同じくらい大切なことです。
出稼ぎしているみなさん、帰ってきたらまず、役場に年金の届けをしてください。



すっかり忘れていた国民年金に穴があいてしまっています。



昭和55年「牛の角突き」日程

	山古志会場 (池谷)	虫亀会場	小栗山 (小千谷市)	芋川 (広神村)
5月	3日(土)18日(日)	11日(日)	4日(日)	
6月	15日(日)	8日(日)	1日(日)	22日(日)
7月	20日(日)	13日(日)	6日(日)	
8月	2日(土)15日(金)	10日(日)	3日(日)	
9月	21日(日)	14日(日)	7日(日)	
10月	19日(日)	12日(日)	5日(日)	
11月	3日(月)	9日(日)	2日(日)	

新しい酒井省吾氏 村長に

新村長に聞く

村長選挙で村民の審判の結果、見事当選をはたした酒井新村長を訪問し、村政への抱負等をうかがってみました。

——選挙の結果について——
審判の結果は非常にきびしい

ので、ずっしりとした重みに責任を感じております。

——村政運営の基本姿勢等について——

私自身が選挙期間中に訴えてき

村民と一体となった

たように、村民一体となるまとも入心があつてこそ、公平な村政運営ができるものと思つております。

選挙戦を通して、村民のみなき

公正な村政を

んのご苦労やお悩み、ご要望等を十分にくみとつておりますが今後にもさらに、みなさんの意向を把握したなかで、融和を土台に、公平な村政を積極的に進めたいと思つております。

私は行政事務については一年生ですので、村の職員からも村民のために働いているという自覚と誇り、責任をきちんと持つていただ

き、意向を十分に活かしながら、職員と一体となって、村民の期待に添えるべく努力していきたいと思つております。

——当面する問題について——

非常にきびしい選挙だった後だけに、村民のみなさんの間に感情のもつれが残っているとすればできるだけ早くなくし、村民と一体となった融和の方向に持つていくことが大切だと考えています。

そのためには、私自身が積極的にみなさんの気持にとけこんでいくことが大切だと思います。



酒井村長のプロフィール

昭和三年二月二十一日生まれ、五十二歳。高小卒。三十二年三月三十一日村議会議員に初当選、以来昭和五十五年三月十二日に辞職するまで、連続六回当選、議員生活二十三年。この間に、村議会議長三回、社会土木委員長、建設委員長を歴任。また、昭和四十四年、昭和五十二年には、永年勤続それぞれ十二年・二十年として、県議長会長より自治功労表彰を受ける。



たなかで作成してゆきたいと思つております。

どうぞ、よろしく願ひいたします。

趣味—民謡
好きなことば—「和」
家族—五人、特に孫の鉄平くん(三歳)は目に入れても痛くない存在。
酒量—日本酒二合。
その他—信仰心に厚く、毎朝誦経を欠かささない。

退任のご挨拶

前山古志村長
佐藤 久



村民のみなさん、いかがお過ごしですか。今年は大雪でさぞお苦しみだったことでしょう。また消雪遅れで、作付に、錦鯉の飼育に、ご苦労が多かろうと思ひ、案じています。

さて、私が村長に就任させていただいてから早十六年過ぎ、さる三月二十日で退任しました。至らない者を長く村に使っていただいたことを本当にありがたく思っています。村議会議員方をはじめ内外より広くいただいたご協力、ご指導、ご鞭撻を深く感謝いたします。

教育および福祉施設面では、山

就任と同時に着手したことは道路でありました。当時、村内の県道は分断され、車の入らないところが七部落あったと覚えております。道のことは先輩方が心血を注がれたことなので、その志を継ぎ全力を尽くしました。国県の指向を山間地に向けることに努め、国、県議会議員のお力をフルにいただき急速に改良を進めました。その結果、昭和四十六年秋の池谷種芋原間開通で全部落に車が入るようになり、また国道への昇格も実現しています。

次に産業と観光事業で、錦鯉主産地形成事業を発起し、特定農山村振興事業創設に参画して共に国策に取り上げられ、錦鯉技術指導研修所、同総合センターを設置。農村定住促進事業実現を推進し、近く当村も指定されることになっています。経営者養成事業を起し、畜産、錦鯉、その他の後継者養成を図り、牧場、観光協会、同開発公社、学校別スキー場造りなどを進めました。また、牛の角突きを再開、「二十村郷牛の角突き習俗」として国の重要無形民俗文化財に指定。村単独事業として農道の開拓、結婚相談所を設置しました。

古志中学校、東竹沢小学校、種芋原小学校、東竹沢・竹沢・虫亀の教員住宅の建築および高等学校の整備に力を注ぎ、三保育所と診療所の建築を行いました。

また、七年がかりで電話の一村一局を実現し、梶金と種芋原のバス乗入れ、その外各種の国県の施策を受け入れて、村民のみなさんのご協力で夫々目的を達成しました。

まだまだやらねばならぬ仕事がたくさんあります。それは目下作業中の新しい総合計画の中に盛り込み、次の村長さんによっていただくことになる見込みです。なお、はじめから終りまで雪害問題に真剣に取り組みましたが、思う成果が上がらず申し訳なく思っています。

険しいが美しい自然と、豊かな人情、それに他にない特異の角突き行事、錦鯉と、畜産や観光に多くの資源をもっています。

村議会と協議研究中のいろいろの計画は、新村長の努力に期待しています。私も命ある限り、村のために努力をいたします。

山古志村の発展と、村民のみなさんのご多幸を祈つて、お礼と退任のご挨拶いたします。



立会演説会で

村長選挙の結果

投票率 98.06%

三月二十三日に行われた村長選挙は、身近な選挙だけに関心も高く、雪まじりの悪天候にもかかわらず九八・〇六%という高い投票率となりました。特に第九投票区(大久保)では、全員が投票し一〇〇%でした。

開票の結果、一〇〇票の差で酒井省吾氏が当選し、翌二十四日当選証書が交付されました。

当日の有権者数	二、六七八人
投票者数	二、六二六人
投票率	九八・〇六%
投票の内訳	
酒井 省吾	一、三五四票
坂牧 清作	一、二五四票
無効投票	一八票

小池収入役退任

職務代理は菊入住民課長兼務

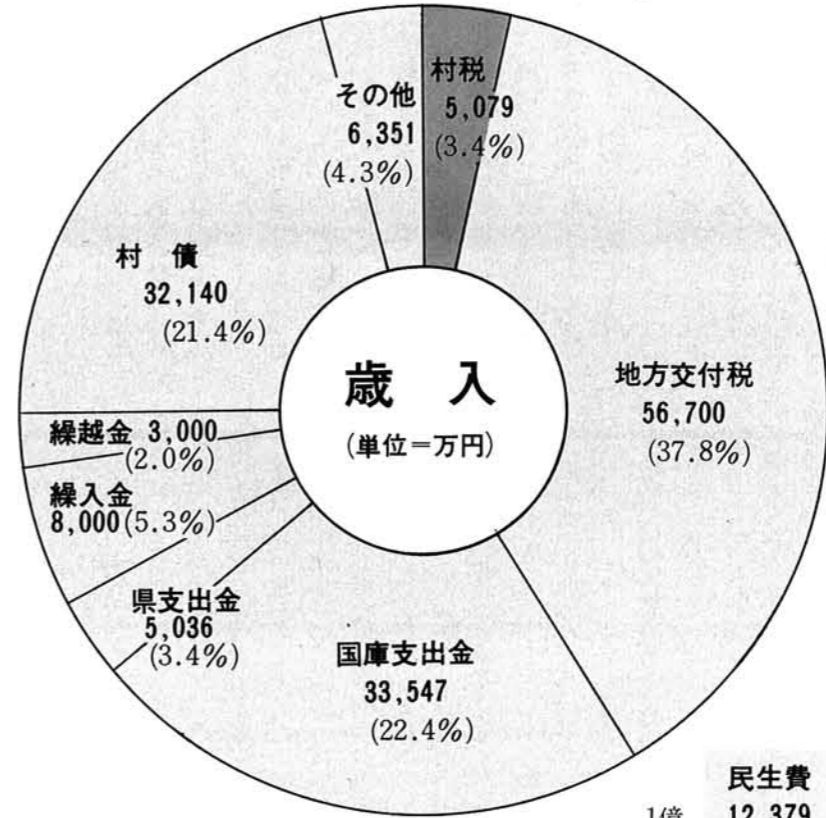


収入役の小池松衛さんが、ご都合により、三月二十日付けで退任されました。小池さんは、旧竹沢村当時から引き続き約三十二年間村の職員として、さらに昭和四十七年から七年十カ月間収入役として

務めて、村の発展に尽くされました。長い間、本当にご苦労さまでした。なお、後任の決定まで、菊入住民課長が職務代理者として兼務します。

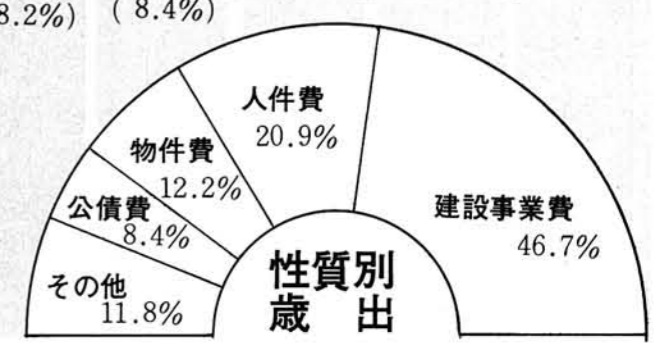
55年度当初予算 住みよい村 にむかつて 17億円

一般会計 14億9,853万円(-1.7%)
 国保特別会計 1億5,608万円(-8.2%)
 診療所特別会計 6,048万円(+9.2%)
 農業共済特別会計 1,837万円(+10.4%)
 () は前年対比



昭和55年度 一般会計予算内訳

教育費 54,674 (36.5%)
 土木費 24,696 (16.5%)
 総務費 15,851 (10.5%)
 民生費 12,379 (8.2%)
 公債費 12,576 (8.4%)
 農林水産業費 9,894 (6.6%)
 災害復旧費 8,225 (5.5%)
 衛生費 4,467 (3.0%)
 議会費 3,109 (2.1%)
 その他 3,982 (2.7%)



三月四日から開かれた五十五年第一回定例村議会は、新年度予算など二十八件の議案が提出され、それぞれ可決承認、十二日に閉会となりました。
 主な概要は次のとおりです。

- 条例関係**
- ▽特別職の給与条例の一部改正
 - ▽教育長の給与条例の一部改正
 - 特別職の給与を四月から改正するもの。三役、教育長、村議会議員は次のとおり。

村長	三九〇,〇〇〇円
助役	三二六,〇〇〇円
収入役	三〇八,〇〇〇円
議長	二六二,〇〇〇円
副議長	一一七,〇〇〇円
常任委員長	八六,〇〇〇円
議員	八四,〇〇〇円
議員	八二,〇〇〇円

村の一年の仕事を決めるといえる当初予算。この昭和五十五年度の予算は、一般会計、特別会計あわせて一七億一、六三二万円となりました。(一般会計繰出による重複分を除く) きびしい財政の中、前年度とくらべると二・四％の減少となっています。
 ことしはどんな事業をするのか……一般会計について
 主な事業を紹介しましょう。

一般会計
 対前年比 一・七％
 の減

国全体の節約ムードの中、市町村などの自治体はいまきびしい財政となつていますが、昭和五十五年一般会計予算は十四億九、八五三万円を計上。前年度に比べ、二、六一九万円、一・七％の減少となりました。しかし、前々年度と比べると六一・〇％の増と、決して縮小予算ではありません。
 歳入をみますと表のとおり、地方交付税、国庫支出金などの依頼財源が八六・五％とあいかかわらず大半を占めています。特に村の借金である村債は、竹沢小学校建設一億六、〇〇〇万円、村道整備一億一、三〇〇万円など、前年と比べ二九・〇％の増。地方交付税も六・〇％増。反対に国庫支出金は災害復旧の減で二七・六％減少し

民生・衛生

村民が健康で幸福に暮らせるよう、昨年より七十四万円の増となりました。今年は水源調査を行う予定です。

- 老人福祉 三、七二〇万円
- 児童福祉 六、六二二万円
- 母子衛生 三、五五五万円
- 環境衛生 六、五三三万円
- 診療所会計 一、三四〇万円

教育

今年最大の仕事といえる竹沢小学校の建築が行われます。現校舎

竹沢小学校を新築

新築される竹沢小学校

土木

村道の整備10線

毎年道路整備には重点がおかれており、今年も道路改良、舗装、除雪、県道工事の負担金などに、前年より四、五〇〇万円増の二億〇、七七八万円計上しました。

ことしの村道改良、舗装計画は次のとおりです。

北中外線	改良(種学原)
大久保檜木線	〃(池谷)
向田間内平線	〃(向田)
梶金木籠線	舗装(梶金)
桂谷北線	〃(桂谷)
池之端線	〃(種学原)
大久保南線	〃(大久保)
虫亀間内平二号線	〃(虫亀)

人事関係

▽減債基金条例の制定
 年々増大する村債の返済のために基金を設けるもの。
 このほか、消防団員の給与条例などが可決承認されました。

補正関係

▽固定資産評価審査委員会
 任期満了に伴う同委員に、長島寅三郎さん(虫亀)の再任が同意されました。

▽昭和五十四年度一般会計補正予算(第八号)

歳入歳出それぞれ一、五二七万円追加し、総額は一六億四、三九九万円となりました。主なものは除雪費二四七万円追加、教育施設整備基金積立金三、五〇〇万円追加、種小新築費四八三万円の減などです。歳入では、国庫支出金が四、三九七万円追加、村債一、四六〇万円の減などとなりました。

その他、特別会計でも年度末にあたり補正がありました。

このほか、種学原の共同作業所集落センター建設の補助金などが計上されました。



4月1日～7日

「1年間で1,800人におよぶ尊い命と1,300億円の財貨が炎の中で失われた」——昨年秋の消防白書は、こう伝えています。

ところで春は、空気がカラカラに乾燥して風も強く、いわば火災シーズンの“本場”ともいえる“危険な季節”です。

このため新潟県では、4月1日から1週間「春の火災予防運動」が行われます。お宅の火の元は大丈夫でしょうか。



＝消防白書から＝

昭和五十三年の出火件数は全国で七万四千二百三十三件、戦後一番目の不名誉な記録です。——これは日本列島のどこかで七分二十八秒ごとに火災が起きた勘定になります。

このうち、建物火災約四万件、次いで林野火災が七千二百八十八件。特に林野火災は前年に比べ三八%も多くなっています。春から異常乾燥が続いたことや、たき火の不始末やたばこの投げ捨てが原因になっていることはいうまでもありません。

火災原因のナンバーワンはというと、やっぱりたばこ——これで十八年連続第一位です。また、たき火の不始末も急増しています。春に向かって、もっと注意してほしいですね。



別れの証文

村史調査執筆委員 大谷内礼子

ここに一通の去状——俗に言う「三下だり半」がある。夫が妻に渡す離縁状で、夫はわずか三行半を書き終えた時、かつての妻に対する一切の未練を断ち切らねばならない。

おおかたは、不都合があつて離縁するから、以後どこへ縁付いてもかまわない、と書く。だが、この去状は、其方儀我等心配いたし候哉——お前のごとく誰が心配するかと捨てりふめいた書き出しではないか。

そのうえなぜか、おいよどのにあてたこの去状に、夫(だった)林蔵は印形せずに爪印を添えている。

私が爪印を見たのはこれが二度めで、この前は置文——置言状だつた。爪印は幼児や女など印を持たぬ者、あるいは不携帯の場合にするものと言う。この置文の場合、もはや印形する力さえなかったのかも知れない。

では、この去状の男はなぜ爪印などしたのだろうか。捨てりふ

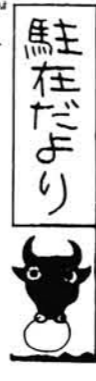
もう一通去状がある。三行半ではない。仙助の証文で、「うらせ」——「隠妻」にひまを出し、以後決して自分の家に入れないことを約束した。仙助はこの去状を書くことによつて、やっと親の跡を相続する許しを得たのである。だが親の許さぬ妻を持つなど「両親大切」にしない仙助には、自分の跡を妹に継がせることがもう一つ条件だつた。

同様な場合でも甚左衛門は去状を書かずに、相続放棄の証文を書いた。「女房殿」不身持ちのうわさのためで、両親、巻向、親類中に詫言を入れ、弟に継がせること

で落着きを見ている。

——三下だり半に至るまで、夫婦以外のものが大きく働くとしても、それでもわずかな行間にさえ、おいよどのやうら女の入る余地はない。

- ◆春の防火運動
 - 両どなり、互いにかけあう 声とカギ
 - みんなを防ごう
 - 子どもの水の事故
- ◆春山の事故防止
 - 山菜採り 行先告げて 早めの帰宅
 - タバコの花
- ◆春の全国交通安全運動 (4月6日～15日)
 - まずゆとり 車間距離にも ころころにも
 - 安全は 家庭の中から しつけから
 - あぶないよ 歩きながらの ふざけっこ
- ◆新学期です。かわいい新入生 (園) 児童を交通事故から守りましょう。



山火事防止の第一歩
 ◆春の交通安全運動 (4月6日～15日)
 ○まずゆとり 車間距離にも ころころにも
 ○安全は 家庭の中から しつけから
 ○あぶないよ 歩きながらの ふざけっこ
 ◎新学期です。かわいい新入生 (園) 児童を交通事故から守りましょう。

JAS表示改正

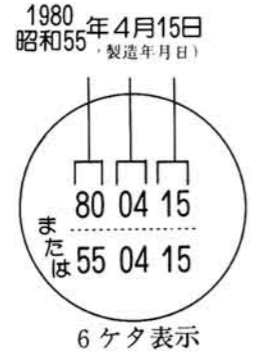
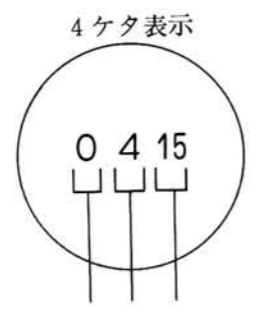
わかりやすくなりました

かん詰め等の製造年月日

かん詰めなどの製造年月日の表示が、これまでの数字とローマ字の組み合わせによる「四ケタ記号」に代わり、数字ばかりの「六ケタ記号」方式になります。

従来の四ケタ表示は、「年」が西暦下二ケタ、「月」も一ケタ、「日」が二ケタでした。そのため十月～十二月の表示は「0」「Y」「Z」と、消費者には分かりにくい面がありました。

新しい「六ケタ」の数字による表示方法は、製造年・月・日ともに二ケタ。略号を使うこともなく



分りやすくなっています。製造年は西暦でも元号でもよく、西暦は下二ケタを表示しています。

従来の四ケタ表示は、三月以降、徐々に六ケタ表示に移行していますが、メーカーの機械の切り替え

牛の角突き習俗

ニキスト発刊

一昨年五月、「牛の角突き習俗」が国の文化財に指定され、これを機に、記録フィルム作成などが行われてきました。今回、この一環として「角突きのテキスト」ともいえる冊子を刊行しました。

A五版、三十二ページ。なお希望者へは実費三百円で頒布しますので、観光開発公社でお求めください。

牛の角突き (123)

八犬伝と その作者 修 野 軍 一 伝

しからんには是非に及ばず。さりとして遠路の夜行なり。はにだ(復)のりもの(竹で作った輿の事)をまいらせん。うちのりて。やよ走らし給へ。といへば小文吾頭をふりて。そは浅からぬ馳走なれども。その義によりて時を移さば。いよいよ及びがたかるべし。ゆるし給へ。といひ捨て。身ごしらひあわただしく。はや玄関に立ちいづれば。主人はなほも如僕輩を。ふたりみたりを呼立て。なんじらはおん客人に。従ひまつりてとくゆきね。とことばせはしく吟附。さて後方にこぞりたる牛裁判らにうちむかひて。おのおの(各位)がたもとてももの事に。一人途まで送らせ給へ。われわれははにだのりものを吊らして。よりおひつかんこの義をたのみまうすなり。といふにみなみな(犬家)異議もなく。そはよろし(宜)ふなこころ得たり。甲て(それかれ)はしばらくのこりて。主もろともに続きて来よ。あとをたのむといひかけて。走り出る一兩名。おかれて来ぬる如僕輩を。呼掛々々急がして。一町あまり先だたる。犬田に喘

ぐ運牛の。月を便りおふにけり。そはさておきて再び説く。鯨守磯九郎は。酔に乗じつ牛裁判らの。皆とどめたる意見をか。十貫の銭五反の縮を独りあふこ(杓)にうち掛て。須本太が宿所をいでしより。ひたすら路次を急ぐものから。又只よろよろひよろひよろと。あしの運びの危なかりしを。幸わひにしてこけもせず。辛くして。路二里餘来にければ。夜ははや二更のころになりけり。磯九郎が性として。角力を好めばさばかりの。臂力なきにはあらねども。思ひしよりは持ちおもくして。えび酒の酔はさめにけり。しばしこころでいこわんとて。そが儘に擁をうちおろして。おしはだぬぎつ月をみあげて。腰なる手拭をぬきいだし。むな毛をひたせし汗を拭ひて。あちこちを見かへるに。今来し方の山路なりしは。相川村にてありけんかし。こは件の村はづれにて。陝野(せまい野の意)あり水田もあれど。樹下藪の蔭などには。残れる雪の多く見えたり。よるの野田のことにしあれば。